

## 会 長 挨拶

高倉会長の後任として、みやぎ街道交流会会長に指名された白鳥良一です。

このみやぎ街道交流会とのお付き合いは、平成19年の第一回交流大会に基調講演を頼まれたのが始まりで、昨年第二回交流大会でも基調講演を行うことになり、何か縁が深いと感じておりました。一昨年の総会前に事務局のほうから顧問の就任をお願いされ、1年間躊躇して昨年就任させていただきました。3月11日の東日本大震災の津波で大山副会長が被災されたということを知り、心配していた折、山屋さんから、副会長を励ます会をするから、というお誘いを受けたので行ってみたら、突然に会長の話を頂きました。私にはとても任が重いと思いましたが、高倉会長が名誉会長になられるなどのお話もあり、お引き受けすることとなりました。



私の専門は考古学なものですから、多賀城跡の研究をやっている中で、東山道（とうさんどう）などの歴史的な道について考えてきました。古代に多賀城の南前面には方格道路を配した都市計画があることが判明しておりますが、昭和56年に私が担当した多賀城跡第37次調査で最初にその道路の一端を見つけて、この一帯に街並みがあったと考え始めたことが解明のきっかけとなりました。

また、現在岩沼市史の執筆を依頼されておりまして、東山道というのがずっと頭の中から離れずにあります。岩沼の付近だと、東山道は非常に限定された範囲の地域を絶対に通っているはずですので、市史関係者で、東山道、この地域にあったとみられる玉前駅（たまさきのうまや）、玉前関（たまさきのせき）を探す調査をやっています。

このみやぎ街道交流会は、文化交流の血管となった道に対しての理解を深めるとともに、さらに自ら地域間交流を進めて地域の活性化に貢献しようという、大事な目的を持った集まりであります。私がどこまでそれに貢献できるかわかりませんが、とにかく頑張っていきたいと思っております。

高倉前会長は非常に勉強家で、ずっと道についての研究を続けてこられました。私は道について特別勉強してきたわけではありません。しかし、街道談義でわいわいとやることだけは同じようのできそうですので、会員の皆様と大いに語り合い、交流し合って、楽しくやっていきたいと思っております。自分たちが楽しくなければ、いい仕事、いい交流はできないものと常々考えています。皆さんの活動を少しでも支えられればと思っておりますので、どうかよろしくお願いたします。

みやぎ街道交流会 会長 白鳥 良一

### 【新会長のプロフィール】

1946年生。宮城教育大学卒。仙台市教育局文化財課長、宮城県多賀城跡調査研究所長、宮城県教育庁文化財保護課長、東北歴史博物館副館長などを経て、現在、尚絅学院大学・東北生活文化大学講師、(社)宮城県芸術協会事務局長。専門、東北古代史の考古学的研究。縄文土器、土師器・須恵器の研究。